

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる

101年目の伝統 長野県赤穂高等学校

ビジネスをサイエンスする 商業科通信

vol. 068



長野日報 5/9掲載

14日 Face in Face

長野しんきん

ビジネスフェア2017

「主催」長野信用金庫 「共催」長野県信用金庫協会、長野県中小企業家同友会
「協賛」長野しんきんビジネスクラブ、長野信用金庫経営者協議会

入場無料

本校からマーケティング塾（県商研主催）に参加している生徒のうち3名が、「ビジネスフェア2017」（長野市ビックハット）に参加し、参加企業のブースを回って商品の説明を受けるなど、今後自分たちで企画する商品開発の参考にしたり、また協力企業を探すなどに取り組みました。

本校マーケティング塾参加生徒が
長野しんきん
「ビジネスフェア2017」に参加しました！



起業家育成講演会でグループワークを体験する高校生ら

起業家の心構えとは
高校生対象の育成講演会 駒ヶ根 J C

駒ヶ根青年会議所は7日、の駒ヶ根商工会館で開いた。高校生を対象にした起業家育成講演会「起業の楽しさを学ぼう」地域を想い行動できる。広島市でビジネスプロデュースを行う会社を経営する下宮人になるために。

勇生さんが、起業家を目指す心構えについて話した。同会議所は起業家育成を今年度の重点事業の一つに位置付け、下宮さんを講師に、若者を対象にした「地域志向育成塾」やビジネスプラン作成などを計画しており、今回は事業への導入編として講演会を企画した。

大学生の時に起業し、高校生の協働による商品開発などの実績がある下宮さんは、起業の際に求められるアイデアについて「センスではなく努力で生み出すもの」と強調。発想の方法としてテーマから思い浮かぶキーワードを洗い出し「細分化」と、需要を想定し細分化した要素を「構成」する手法を説明し、「何かを加えたら、省いたら、ほかの材にしたら」など、細かく想定し分析していく作業が大切になるとした。「駒ヶ根」をテーマにしたグループワークも実践。高校

講師の先生に「地元の街のことをあまりよく知らない」ということをズバリ指摘されていました。。地元の社会や生活のことにもっと関心を持ち、地域の強み・弱みを理解したうえで、この地域のために何ができるか考えよう！（加）

生から出されるキーワードが少ない指摘し、「発想には引き出しの多さが必要、まちをもっとよく見て、人に出会い、情報量を増やしてほしい」と呼び掛けていた。（高島剛志）



マーケティング塾の説明もありました

